

講演会：DE&Iの社会を目指して 日本と海外の比較、課題と改革提案

日時：令和5年8月26日（土）10:00～11:50

場所：リアルとオンラインのハイブリッド
港区立新橋生涯学習センター

講師：原田敬美（はらだけいみ）、NPO地域と行政を支える技術フォーラム理事長、前港区長博士（工学）、技術士（建設）、一級建築士

はじめに

今日、世界中で社会に求められる基本思想はDE&Iです。DはDiversity（多様性）、IはInclusion（包摂性）、EはEquity（公平性）です。

私は学生時代3度の海外留学とその後の国際会議へ参加した経験、さらに、港区長と言う政治体験に基づく話題を提供します。



基本姿勢

Equity（公平性）について、平等（Equality）をめざすなら、違いを受け入れる必要があります。図1（技術士会男女共同参画推進委員会資料より）のとおり、「身長差があるなら果実に手が届くよう台で調整する。」必要があります。



図1 公平性（日本技術士会男女共同参画推進委員会資料から引用）

海外でショック

女性研究者比率は、OECD諸国で日本は16%で最低。イスラム国トルコは38%で9位、スウェーデン、フィンランド、アメリカより上位です。

1%と60%の違い

私が大学に入学した1967年、建築学科の女子学生比率は1%、1971年スウェーデンに留学した際、ストックホルム工科大学建築学科の女子学生比率は60%でした。

5%と50%の違い

港区長時代、区議会の女性議員は5%。留学したアメリカ、ヒューストン市（人口230万人、全米第4位の都市）の市議会は定数16名の内女性議員8名、50%です。市役所に局長22名の内女性局長は10名、建設局長、都市計画局長、財務局長、IT局長、市役所裁判所（アメリカでは自治体の条例違反の裁判は市役所の組織としての裁判所が判断します）所長など重要局長に女性が就いています。

トルコ、コジャエリ大学学長は女性、多くの学部長は女性

講師として招聘されたイスラム国トルコのコジャエリ大学（トルコの大学はほとんど国立大学）の学長、法学部長、海洋学部長（操船学）、建築学部などの学部長は女性です。学生の半数は女性です。



図2 コジャエリ大学学長（大学パンフから引用）

事例紹介

90年代、オランダを訪問した際、親しいオランダの建築家ホーホスタット氏が、氏が設計した建設省を案内いただきました。各フロアを回ると、多くの

女性幹部がいることが分かりました。また、1階に保育所がありました。小さい子供を持つ職員にとり安心して子供を預けられます。

80年代、後輩が英国石油に転職しました。ロンドンに到着後、すぐ会社に出勤したら上司から叱られ「奥さんが引越しや子供の学校の入学手続きなどで大変だろう、家事を手伝え、一週間出勤しなくてよい。」と言われました。残業はなく、帰宅すると家族サービス、地域活動参加していたそうです。

最近の海外事例

アメリカの名門大学で女性学長がどんどん誕生しています。ハーヴァード大学はハイチからの移民の黒人女性です、他大学出身です。コロンビア大学はエジプト人女性、イギリスの大学出身。MIT(マサチューセッツ工科)、ペンシルベニア大学、ジョージワシントン大学、ダートマス大学などいわゆる名門大学の学長が女性です。多様性、公平性そのものです。

欧米の大学教員採用は公募が原則です。専門誌に掲載された公募広告を見ると「女性の応募歓迎、人種、宗教問わず」と記載されています。昨年のハーヴァード大学建築大学院の公募広告には「妊婦さんも応募してください。」と記載されています。

日本の大学では公募は稀で(形だけの公募が多いと聞きました)ましてや「妊婦さんも応募してください。」はありません。

アメリカ建築家協会(AIA)の現会長、次期会長、次次期会長は女性です。さらに次の年度の会長予定者も女性です。次期と次次期は黒人女性、最近決まったその後の会長予定者はアジア系です。



図3 アメリカ建築家協会、現会長、次期、次次期の会長予定者

日本の建築学会、建築家協会などでは女性の役員自体が稀です。もっとも、分母となる大学的女子学生自体が少数です。ですから、社会で女性幹部がなかなか生まれません。

海外の識者のコメント

2021年10月110の理系の学会の共同主催(男女共同参画学協連絡会シンポジウム)で私が企画と進行を仰せつかりました。招聘したパネラーから以下のようなコメントがありました。

スウェーデン大使「男も家事育児を」

フィンランド大使「技術の国際的競争下、女性技術者を活用しないと勝てない。」

ハーヴァード大学建築大学院院長(女性)「女子学生比率60%、女性教員38%、教授は公募で他大学出身者を採用。大学院長自らロールモデルを果たしている。入学実績のある高校を訪問し、女子高校生にハーヴァード大学で建築を学びましょうとPRしている。」

トルコ、コジャエリ大学元建築学部長(女性)「女子学生比率50%、学長以下多くの幹部が女性。女子高校生にコジャエリ大学で建築を学びましょうとPR活動をしている。」

日本の課題と改革に向けて

100年前、日本もアメリカもトルコも男性優位の社会でした。過去40年、50年の間で欧米諸国、トルコ女性の社会参画の政策が大幅に変わりました。日本のみ変化、改革がありません。

ノーベル賞の野依良治氏の大学改革の提言

野依氏は日本の大学(企業も政界、官界も)運営の課題として、①日本の大学の研究室は教授、助教授、助手と上意下達の仕組みで、世界の大学の常識からかけ離れている、②欧米の大学はポストが空くと分野に相応しい若手を公募で探す、日本の大学はほとんど学内出身者で、年功序列、双六昇進型である、と指摘しています。

社交方法の改革

日本の社交は男中心、ナイトクラブ、料亭などで男同士密談、こうした社交は、先進国で日本だけです。女性は参加困難です。欧米の社交は、ホームパーティ、ランチミーティングなどが中心ですから女性も安心して参加できます。

トップの英断で社交方式も変えるべきです。

※ 数値・役職等については訪問当時のもの

地域と行政を支える技術フォーラム そのユニークな特徴

◎ 特定非営利活動法人(NPO法人)です。

当フォーラムは、建設・環境・情報等をベースとした専門家が、地域住民のパートナーとして助言・提言を行うとともに、地方行政事業の必要性・効率性・有効性・公平性・優先性について、地方行政を事前・事後あるいは途中においてサポートすることにより不特定多数のものの利益に寄与することを目的として、平成16年に内閣府認証のNPO法人として設立されました。

前記の目的を達成するため、当フォーラムでは次の活動や事業を行っております。

- (1) まちづくりの推進を図る活動
- (2) 環境の保全を図る活動
- (3) 情報化社会の発展を図る活動
- (4) 経済活動の活性化を図る活動
- (5) 建設・環境・情報等に関する相談・助言・提言事業
 - ① 講演会・講習会・セミナーの開催
 - ② ホームページ、メールによる情報提供
 - ③ 交流会の開催
- (6) 地方行政事業に関するサポート事業
- (7) その他、目的を達成するために必要な事業

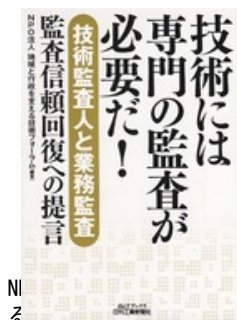
◎ 多様多彩な人材の宝庫です。

当フォーラムは、工学博士、技術士(建設、上下水道、環境、農業、情報工学、電気電子、機械、化学、経営工学他)、一級建築士など、多様多彩な有資格者で構成されております。

◎ 十数年に及ぶ膨大な実績があります。

当フォーラムは、平成16年の設立以来、都内の市役所・区役所の他、北海道、青森、山形、福島、新潟、栃木、群馬、茨城、千葉、埼玉、神奈川及び静岡の各道県内市役所などにおいて、建築・土木・上下水道・環境・通信・情報・電気・機械各分野の工事監査等に伴う技術調査や、技術職員研修、管理職研修、監査委員研修の実施などに精力的に取り組んで参りました。このため、他に類を見ない膨大な実績を有しております。

この他、関係書籍の出版や、講演会を年に4回継続的に開催するなど、有用な情報の発信にも積極的に努めて参りました。



◎ 品質の確保には組織的かつ継続的に取り組んでいます。

当フォーラムには、工学博士、技術士(建設、上下水道、環境、農業、情報工学、電気電子、機械、化学、経営工学他)、一級建築士など、第一級の人材が集っております。

しかし、建築・土木・上下水道・環境・通信・情報・機械各分野の工事監査等に伴う技術調査では、これを的確に行って高品質な結果報告書を作成するには、実務経験が絶対に欠かせません。

そこで当フォーラムでは、技術調査を初めて担おうとする者には、経験豊富な者による実際の技術調査への陪席を二回以上経験することを義務付けております。また、作成した結果報告書は、経験豊富な二名の校正担当者による校正を受けることを義務付けております。

このような品質の確保に向けた取り組みは、当フォーラムの設立当初から今日に至るまで、組織的かつ継続的に行って参りました。このことは、他に類を見ないものです。

◎ 情報漏洩の防止は組織を挙げて徹底しています。

当フォーラムでは、工事監査に伴う技術調査等で知り得た情報が漏洩しないよう、関係書類の細断による破棄や、第三者に傍受される虞のある会話やメールにおける具体的な言及の禁止を徹底しております。

◎ 研修講師は当フォーラムにお任せ下さい。

当フォーラムは、官公庁等における技術系管理職経験者やプロジェクトマネジメント経験者、工事等発注業務経験者を多数擁しております。何よりも、当フォーラムの理事長は、工学博士、技術士(建設部門)及び一級建築士の資格を有する前港区長です。そこで、当フォーラムでは、毎月開催する例会や四半期ごとに開催する講演会において、自治体が直面する課題の把握やその解

決策の研究に努めております。このような積み重ねの中から、「耐震技術と耐震対策」、「監査の役割と使命」、「都市計画」、「省エネと創エネ」、「技術プロジェクトのマネジメント」、「談合を許さない発注者のエンジニアリング」、「性能仕様書による発注業務の劇的な改善」、「情報セキュリティ」、「工事の監督と検査」、「建物や設備の維持管理」など、技術職員研修、管理職研修、監査委員研修に適した多彩な研修テーマをご用意しております。また、当フォーラムは、数多の技術分野の有資格者で構成されていますので、全くオリジナルな研修テーマについても、ご要望に応じて創り上げることができます。

◎ 技術コンサルティングも承ります。

当フォーラムは、技術コンサルティングも承っております。上記の研修講師が有する高度かつ専門的な知見を、自治体の技術プロジェクト運営支援や発注業務支援などに直接活用して頂くことができます。特定の事業に係るスポット契約や期間指定の契約など、多様なご要望にお応えできますので、まずは御気軽にご相談ください。

編集後記 編集後記

当フォーラムでは、四半期ごとに開催している講演会の内容を広く皆様にお知らせすることを目的に、年に4回、「ニュースレター」を発行しております。今回は原田理事が体験した海外の女性の社会参画について講演しました。今後の社会の基本は多様性、公正性、包摂性が根底に置かれます。広く技術分野で、また、工事現場でもこうした思想が基本になります。

ニュースレターのバックナンバーは、URL(<http://www.efasca.jp/forum.htm>)でご覧頂けます。

これからの講演内容についてのご要望がございましたら、ぜひ、下記の当フォーラム事務局までお寄せ頂きますよう、お願い申し上げます。

特定非営利活動法人 地域と行政を支える技術フォーラム

電話 03-3403-2325

メール info.efasca.jp

ホームページ <http://www.efasca.jp/>

〒106-0032 東京都港区六本木 3-14-9 妹尾ビル4階

理事長 原田 敬美